

PTA会員の皆様

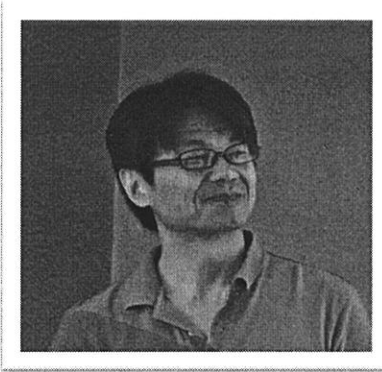
令和元年 7月18日
世田谷区立芦花小学校
PTA会長 布留川 真治
文化厚生委員長 齋藤 いづみ



令和元年度テーマ「子どもと親の豊かな心を育もう」

第1回 家庭教育学級 報告書
子どもの決める力・発想力の共育法
～脱ワンワードから始めよう～

保護者の皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。子どもたちの健やかな成長のため、本校PTA活動に際しまして皆様のご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。



さて、7月8日にK.I.T虎ノ門大学教授であり、著述家、講演者の三谷 宏治先生をお招きして、第1回家庭教育学級を開催いたしました。当日は会場がほぼ満席となる約100名の保護者の皆様にご参加いただきました。三谷先生は本校で毎年行われる脱ワンワード活動の提唱者でもり、夏休みのサマーワークショップの科学教室「ルークの冒険」など本校にも関わり深い先生でもあります。今回は「子どもの決める力・発想力の共育法」ということで、自ら考え行動する力の大切さや子どもたちがその力を身に付けるための親の関わり方についてお話していただきました。

講演では何題かの問題が出題され、会場の皆さんが実際に考えることから始まりました。そこで先生から「座って悩むな！動いて考えよう！」とのお話がありました。私たちは知っている、考えることをやめてしまいます。物事を思い込みで考えるのではなく、とにかく行動してみる事が大切なのです。

試行錯誤力＝発想力×決める力×生きる力（変化を楽しむ心）

- 発想力・・・発想力は発見力。まずは比べる、ハカる力を身につける
- 決める力・・・流されることなく独自の判断をし、実行できる力
- 生きる力・・・時間の自由（ひま）とお金の制限（貧乏）を与え、自分にとってダイジなことを考えさせる。お手伝いも任せてガマンする

決める力を高めるために

動機	決める必要を作る	◆親が決めない
感情	決めるのを楽しくする	◆おこづかいを絞る
技	決め方を練習させる	◆人と違うをほめる
		◆イベント化する
		◆お手伝い
		◆プロセスを問う

一方、大人になってからの幸せは何で決まるのでしょうか。統計的に分かっているのは、学力や学歴、収入の多寡ではなく、社会的つながりによって決まるということ。そして、幼少期から青年期における「言語能力」こそが社会的つながりを高める可能性があると言われていっています。

社会的つながりと言語能力の両方を高めることが大切！

「脱ワンワード週間」で子どもの言葉を引き出す

察しの悪い親になれ！！

察しのいい親の過干渉が、子どもの言語能力を奪っている。

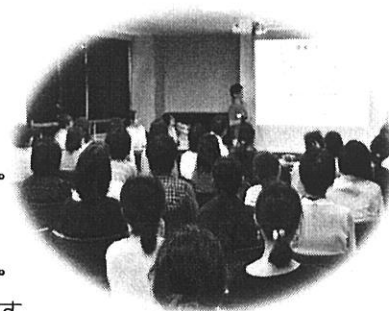
子どもたちは「ムリ」「びみょ〜」「お茶」…など 1 単語でほとんどのコミュニケーションを終わらせています。でも、子どもをそうしてしまったのは親自身です。それで通じ、すぐ親が動いてくれるのですから。

5W1Hをハッキリさせて「文章で話す」ことを心がけましょう。

子どもたちの決める力や発想力をジャマするものがあるとすれば、それは親の過剰な関わりです。親がすべきことは、子どもに関与しすぎることでも放置することでもありません。適度な「自由と制限」を与えることです。子どもたちが自ら調べ、考え、決めて実行し、成功・失敗することを促し続けましょう。現在では、私たちの世代になかった問題や環境が子どもたちを取り巻いています。携帯電話、インターネット、少子化にグローバル化、そして人工知能（AI）。自分自身の経験からだけでは子育てができない難しい時代です。しかし、これからますます大切なのは新しいことに挑む姿勢であり、『生きる力』と呼ばれるものこそが幸せに繋がる力なのです。

☆講演を聴いて☆（アンケートより抜粋）

- 脱ワンワードの取り組みについて知りたかったので参加しました。取り組みの意図が分かり勉強になりました。子どもに考える機会を与え、話をもっとしていくようにしたいと思います。
- 脱ワンワードの重要性がさらに理解できました。
- 言語能力の大切さを聞き、親子・友達等のコミュニケーションをいっぱいっていきたいと思いました。
- 今まで、何かと口出してしまっていたけど、放牧型共育の挑戦で親も我慢することを頑張りたいです。
- 決める力を高める為に、プロセスが大切！
成功、失敗にかかわらず、自分で調べて決めさせることの大切さを学びました。
- 「知っている⇒考えない」
先走りすることが多いので、待つことをしなければと思いました。
- 相談されると答えを与えていたことに気付かされました。
自分の考えを口に出せるような「話し合い」ができるようにしたいです。
- 子どものことをちゃんと信用することが大事ですね。
- 冒頭の「座って考えずに行動しろ」という言葉が一番印象に残りました。
- 日々の生活で「ひま、貧乏、お手伝い」と脱ワンワードを心がけたいです



お忙しいなか、参加してくださった皆様、お手伝いをしてくださった皆様、本当にありがとうございました。

<次回 第2回家庭教育学級の予定>

9月13日（金）11時00分～12時30分（10：45～受付）

講師：花まる学習会 代表 高濱 正伸 先生 『子どもが伸びる家の親のあり方』